

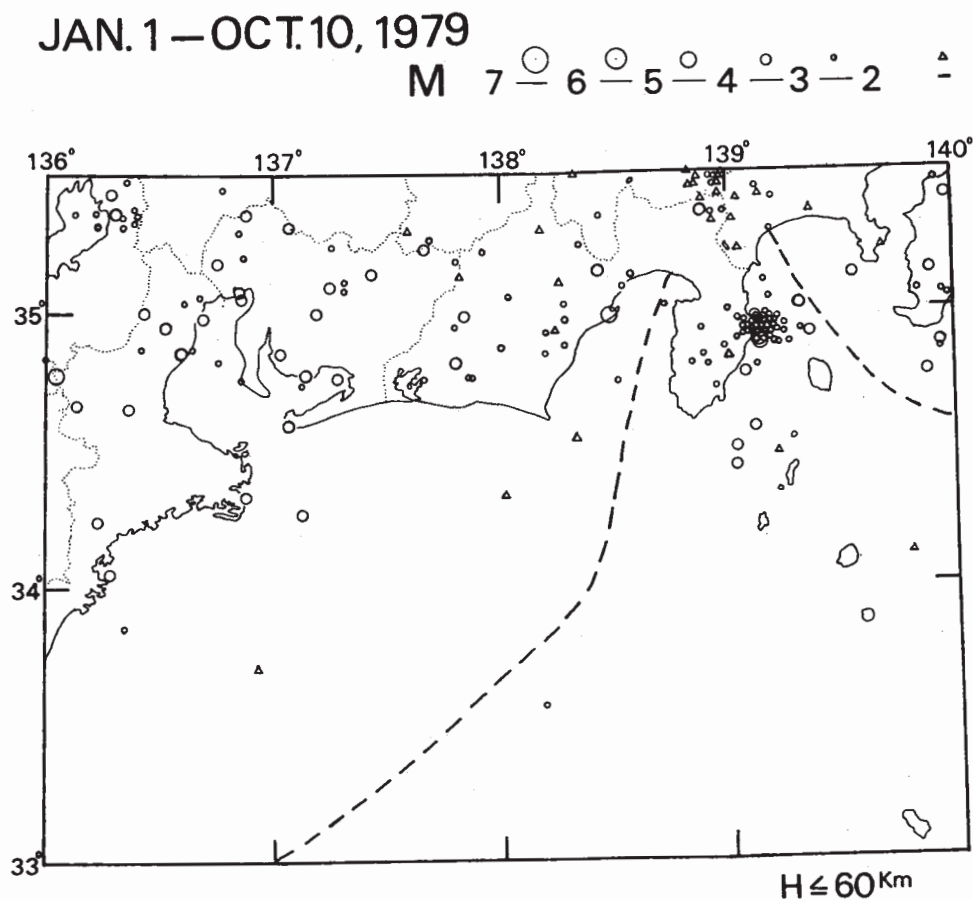
4-4 昭和54年の東海地方の地震活動

Seismic Activity at the Tokai District (1979)

気象庁 地震予知情報室

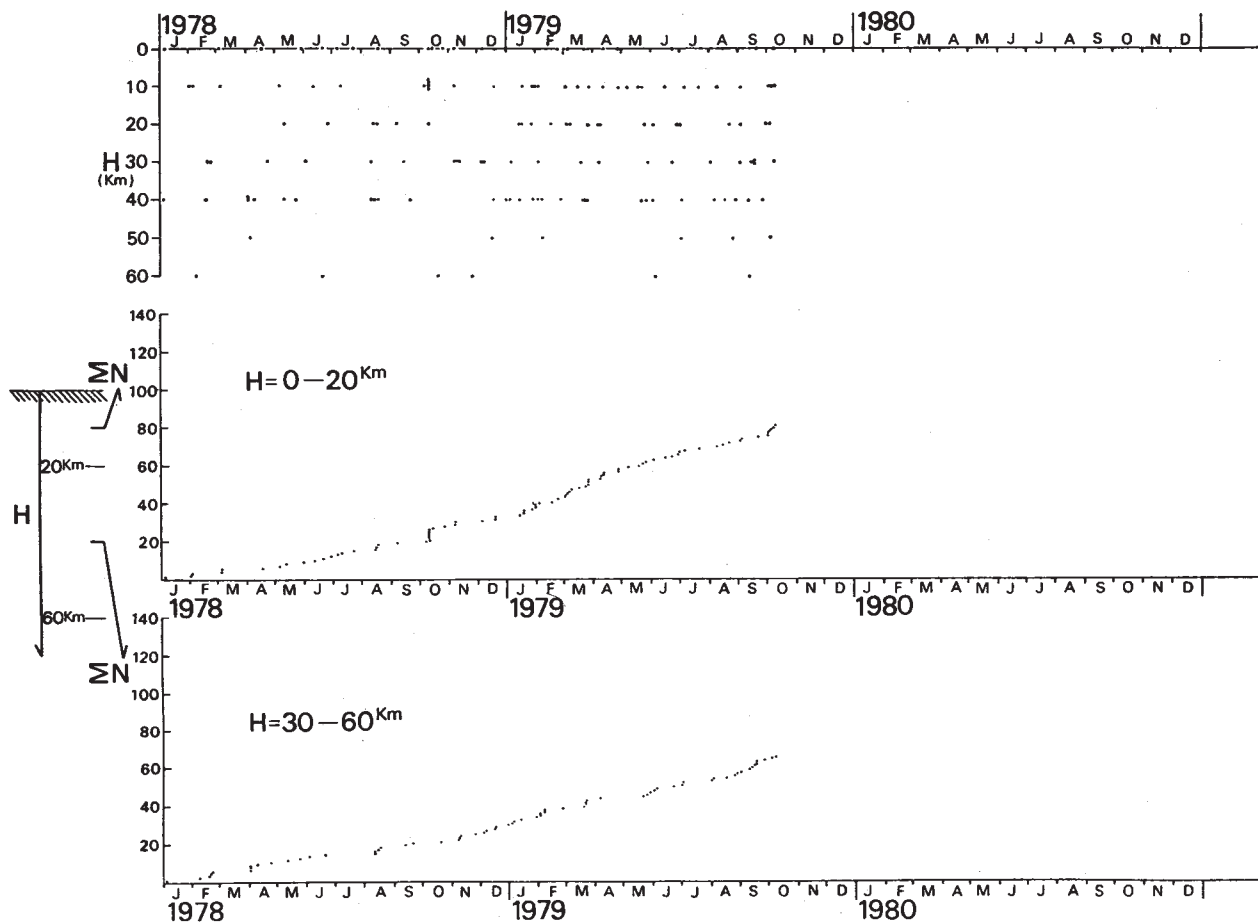
OIEP, Seismological Division, Japan Meteorological Agency

第1図は昭和54年(1979年)1月以後10月10日までに気象庁が震源決定した東海地方を中心とした震央分布図である。また、第2図は駿河トラフ以西の昭和53年(1978年)以後昭和54年(1979年)10月10日までの深さ別の地震活動の変化である。これらの図から伊豆半島周辺の川奈崎沖では、3月と5月に稍顕著な群発地震活動があったが、その後静かになっている。駿河トラフ以西の東海地方の地震活動は前年同様ほぼ定常であり、異常な変化はない。



第1図 東海地方の震央分布図(昭和54年1月-10月10日)

Fig. 1 Distribution of epicenter observed at the Tokai district from January to October 10, 1979.



第2図 駿河トラフ以西の地震活動

Fig. 2 Seismic activities of the western part of Suruga Trough.